

# カンガルーシップ活動 共生プロジェクト実施報告書

報告日	平成31年2月22日
主管学校名	愛媛大学教育学部附属特別支援学校
P T A会長名	篠原 孝二

実施概要	主管校	愛媛大学教育学部附属特別支援学校
	交流校	愛媛大学教育学部附属幼稚園（P T A会長：中川光真）・附属高校（P T A会長：佐保元彦）
	実施活動名	交流及び共同学習、バザーへの出店
	実施日時	平成30年度 年間
	実施場所	愛媛大学教育学部附属幼稚園、附属特別支援学校、愛媛大学附属高等学校
	実施目的	園児や児童、生徒、保護者が、特別支援学校の児童生徒との交流活動を通して、同じ附属学校園として、互いに理解し、親しみの気持ちを育み、共に活動する喜びを感じる。
実施内容	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 附属各学校園でのP T A主催バザーにおいて作業製品の展示・販売</li> <li>○ 附属幼稚園と一緒に栽培活動</li> <li>○ 附属幼稚園を招いてのゲームコーナーの開催</li> <li>○ 附属幼稚園の買い物学習の場の提供</li> <li>○ 附属幼稚園での秋祭りの参加</li> <li>○ 附属高校の学校祭での附属特別支援学校高等部の紹介コーナーの開設</li> </ul>
	実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 附属各学校園バザー等において、作業製品の展示・販売・紹介コーナーを設ける。</li> <li>○ 附属幼稚園と附属特別支援学校と一緒に栽培活動を行い、附属学校園の環境を整える。</li> <li>○ 附属特別支援学校の作業班へ附属幼稚園児が買い物に訪れる機会を設ける。</li> <li>○ 附属特別支援学校中学部生徒がゲームコーナーを開催し、幼稚園児を招待する。</li> <li>○ 附属幼稚園で行われる秋祭りに小学部児童が参加し、共に季節行事を楽しむ場を設ける。</li> </ul>
参加人数	幼稚園児、高等学校生徒、保護者、特別支援学校児童・生徒	約150名

報告事項	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 愛媛大学附属高校との交流及び共同学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業学習の実施</li> <li>・附属高校学校祭への参加と作業学習及び製品の紹介・展示・販売</li> </ul> </li> <li>○ 愛媛大学教育学部附属幼稚園との交流及び共同学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物学習の場の提供</li> <li>・ゲームコーナーへの招待</li> <li>・一緒に栽培活動、幼稚園の環境整備</li> <li>・附属幼稚園での秋祭りへの参加</li> </ul> </li> </ul>
	結果	<p>&lt;愛媛大学附属高校との交流及び共同学習&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5月に附属高校の生徒が特別支援学校に来校し、特別支援学校で行っている作業学習に参加した。特別支援学校の生徒たちが日頃の学習で身に付けたことを高校生に伝えたり、附属高校の生徒が初めての活動にチャレンジしたりするなど、共に学び合う中で積極的に交流を深めようとする様子が見られた。</li> </ul> <p>9月に行われた附属高校の学校祭（愛附祭）では、両校の生徒が協力して作業学習の紹介・展示・販売コーナーを開いた。紹介・展示だけでなく、実際に一緒に販売活動を行うことで、本校の活動の様子を直接知ってもらう機会になるとともに、お互いへの理解もより深まった。</p> <p>（11月に行われた附属祭でも、作業学習の紹介・展示・販売コーナーを設置した。）</p> <p>&lt;愛媛大学教育学部附属幼稚園との交流及び共同学習&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6月と1月に附属特別支援学校高等部・園芸班が、自分たちで育てた花や野菜の苗を販売する「お花屋さん」を開き、</li> </ul>



附属幼稚園の園児たちが訪れて自分の好きな苗を購入するという活動を行った。高等部の生徒たちは、花の種類を丁寧に説明したり、大きな声で「ありがとうございます」とお礼を言ったりするなど、自信をもって自分の役割を果たそうとする姿が見られた。また、幼稚園の園児たちは、実際にお金をもって買い物をするという体験に、緊張しながらも大変意欲的に取り組んでいた。高等部の生徒、幼稚園の園児双方に有意義な時間となった。



- 10月には、小学部児童が附属幼稚園で行われる秋祭りに参加した。同じ敷地内にある幼稚園から特別支援学校まで、一緒に御神輿を担いで練り歩いたり、お祭りの曲に合わせて一緒に踊ったりするなど、楽しい一時を過ごした。



- 11月と12月には、中学部生徒が自分たちで企画・準備をしたゲームコーナーに園児を招く活動を行った。生徒たちは「園児さんたちに楽しんでもらおう」を合い言葉に、ゲームの内容を工夫したり、景品を作ったりしながら当日を迎えた。訪れた園児をやさしく出迎え、ゲームのやり方を一生懸命教えようとする姿が見られた。また、園児も生徒の話を聞いてゲームを楽しみ、「楽しかった!」「もう一回やりたい!」という声があちこちで聞かれた。



- 2月には、中学部の生徒と附属幼稚園の園児と一緒に花苗を植える活動を行った。2学期のゲームコーナーに続いて2回目の交流及び共同学習である。生徒たちが花の植え方を園児に教え、園児はそれを手本にしながら花の苗をいためないように気を付けながら植えるなど、和やかな雰囲気での活動が進んだ。植え付けを終えたプランターは生徒たちが幼稚園まで運んで設置した。また、学習の場として訪れる機会の多い近隣の郵便局にも、日頃のお礼の気持ちをこめ、生徒と園児と一緒にプランターを届け、置いていただいた。



所感

愛媛大学では、附属5校園（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）が共通の理念のもと一体となった教育活動や教育研究を推進している。このプロジェクトは、交流及び共同学習の充実を図ったり、新たな共生の場の広がりを探求したりする有効な機会であり、プロジェクトを受けて3年目の今年は、附属校園内での交流及び共同学習が確実に定着しつつあることを感じる事ができた。それぞれの年齢段階で継続して活動を実施していくことで、お互いの理解も深まり、双方にとって有意義な学びの場になっている。今後も「共生社会」の形成を目指し、継続して活動を行うとともに、これらの活動を附属校園内から地域に広げていくことを考えていきたい。

## カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成30年2月22日
学校名	愛媛大学教育学部附属特別支援学校
学年	全学年

### <小学部児童の感想>

- みんなでおみこしをかつぎました。
- おまつりのダンスが楽しかったです。
- ようちえんの秋まつりに行きました。私はおみこしをかついだのが楽しかったです。

### <中学部生徒の感想>

- けいひんのひもをくりながら、えんじさんをよくみてプレゼントをしました。しんけんにしました。
- 僕は園児さんにことばをやさしく言ってあんないをしました。しっぱいしたときもやりなおせるよう考えて伝えました。園児さんたちがえがおで「ありがとう」「楽しかった!」と言ってくれてうれしかったです。
- えんじさんがボールをすくったらベルをならしました。メダルを「どうぞ」といってやさしくわたしました。
- おきやくさんにカードをわたしました。がんばりました。
- 「がんばって」「すごい」と応援をしたり「よく見て」とアドバイスをしたりしました。
- 花を植えるとき、園児さんが「きれい」と言ってくれてうれしかったです。
- 花の植え方や花のなまえを教えてあげました。花をいっしょにとどけたのが楽しかったです。

### <高等部生徒の感想>

- 附属高校の人たちと一緒に作業学習をしました。一緒に製品を作りました。仲良くなれました。
- 附属高校の友達と一緒に木工作業をしました。糸のこの使い方を教えてあげました。いろいろな話ができて楽しかったです。
- お花やさんに幼稚園の園児さんたちがたくさん来てくれました。うれしかったです。

## カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成31年2月22日
学校名	愛媛大学教育学部附属特別支援学校

- 附属高校との交流学習の話を家でもよくしてくれます。一緒に作業をしたり販売活動をしたりするのがとても楽しいようです。同年代の高校生との交流は子どもたちにとって貴重な経験だと思います。これからも継続していただけるとありがたいです。
- 附属高校の生徒さんと一緒に販売をしている様子を見せていただきました。うち解けた様子で活動しているのがとても印象的でした。こういう機会が大切だと感じました。
- ゲームの内容や景品が工夫されていることに感心しました。大人もやりたくなるような内容で、子どもたちもとても楽しそうでした。
- ゲームコーナーで園児さんと会うのをとても楽しみにしていました。園児さんにゲームのやり方を説明したり、景品を上手にわたしている姿を見て、子どもの成長を感じました。
- 同じ敷地の中に幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校があるという環境は素晴らしいと思います。交流が、お互いを理解するよい機会になればいいですね。